

巨大 恐竜展

Giant Dinosaurs 2024

Featuring the 'Titanosaur: Life as the Biggest Dinosaur'
exhibition from the Natural History Museum, London

全長約37mの
パタゴティタン・マヨルム、
ロンドンから世界初巡回!

2024 7.13 sat ▶ 9.13 fri

パシフィコ横浜 展示ホールA

開催趣旨

約46億年にもわたる地球の歴史のなかでも、「竜脚類」と呼ばれる恐竜は史上最大の陸上動物とされています。本展は、ロンドンの大英自然史博物館(Natural History Museum, London)で開催され、本年1月に大好評のうちに閉幕した企画展「Titanosaur: Life as the Biggest Dinosaur」の国際巡回展で、横浜での開催が記念すべき第一会場目となります。

会場では、世界最大級の巨大竜脚類「パタゴティタン・マヨルム」について、約37mの大迫力の全身復元骨格標本や、インタラクティブ展示でわかりやすく紹介します。さらに、福井県立恐竜博物館、福井県立大学恐竜学研究所の監修のもと、竜脚類以外の恐竜や恐竜以外の生物の数々の標本を展示。恐竜の繁栄の歴史や、恐竜をはじめとする生物の巨大化や進化などを楽しく学べます。

“恐竜大好き！”なお子様から、太古の生物の歴史に思いを馳せたい大人まで、幅広い層におススメの、この夏必見の展覧会です。



© Trustees of the Natural History Museum, London

※写真はロンドンでの展示の様子です。

展覧会みどころ

みどころ①

ロンドンから来日！

全長約37メートルの「パタゴティタン・マヨルム」の全身復元骨格標本を**日本初公開**！

ロンドンの大英自然史博物館で好評を博した企画展「Titanosaur: Life as the Biggest Dinosaur」が来日！ 横浜での開催が国際巡回の記念すべき第一会場目となります。

世界最大級の巨大竜脚類「パタゴティタン・マヨルム」について、全長約37mの大迫力の全身復元骨格標本や、インタラクティブ展示でわかりやすく紹介します。



© Trustees of the Natural History Museum, London

※写真はロンドンでの展示の様子です。

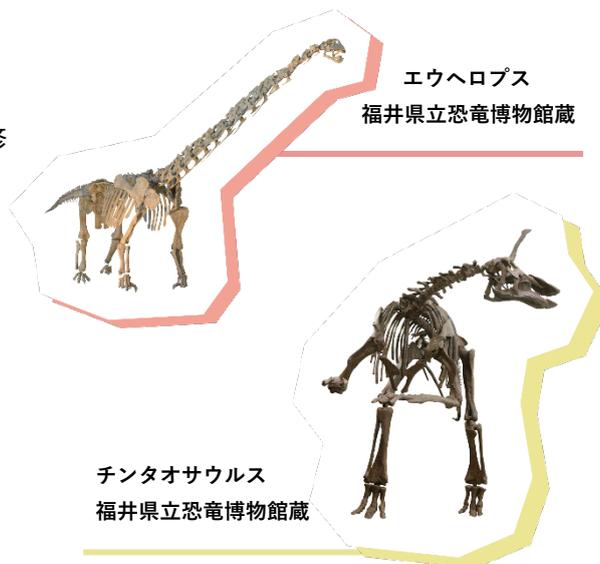
みどころ②

国内の多くの標本も集結！

巨大竜脚類のみならず、恐竜の巨大化や繁栄の歴史を紹介

福井県立恐竜博物館、福井県立大学恐竜学研究所の監修のもと、竜脚類以外の恐竜や恐竜以外の生物の数々の標本を各地から集め、一堂に展示。

恐竜の繁栄の歴史や、恐竜以外の古生物や現存の哺乳類など豊富な標本で生物の進化を紹介します。



エウヘロプス
福井県立恐竜博物館蔵

チンタオサウルス
福井県立恐竜博物館蔵

みどころ③

動く標本！？迫力満点の恐竜ロボットも展示！

福井県立恐竜博物館をはじめ、国内外の博物館におけるハイクオリティな恐竜ロボットを手掛ける株式会社ココロ製。

実物大のリアルな姿は大人もびっくり。



パロサウルス ©ココロ



第1章 生物の巨大化

皆さんは「大きな動物」と聞いたら何を思い浮かべるでしょうか。ゾウやクジラなど、様々な答えが挙げられると思います。この章では、ナガスクジラのようないま生きている動物だけではなく、マンモスや魚竜といった絶滅動物も含めて「巨大な」生き物を集めました。空を飛ぶ爬虫類である翼竜では、翼を広げた幅が10m に達するものもありました。これらの標本を通して、生物はどのように巨大化したのか、なぜ大きくなる必要があったのかを考えてみましょう。



プテラノドン
福井県立恐竜博物館蔵



ナガスクジラ
福井県立恐竜博物館蔵

第2章 恐竜の巨大化

この章では特に恐竜の巨大化に注目します。「大きな恐竜」と聞くと、ブラキオサウルスやアルゼンチノサウルスといった、長い首をもった草食性の恐竜である竜脚類がイメージされると思いますが、実は他のグループでも大型化は起こっています。獣脚類(いわゆる肉食恐竜)ではティラノサウルスやスピノサウルスが有名です。全長 13m に達するティラノサウルスも、祖先をたどると原始的な種では2mほどしかありませんでした。様々な恐竜の進化をたどってみましょう。



ティラノサウルス



スピノサウルス ©ココロ



第3章 ティタノサウルス類: 最大恐竜の生活

何よりも、まずはパタゴティタンの巨体に圧倒されてください。こんなにも大きな生き物が地上を歩いていたのかと想像すると、気が遠くなるような思いです。それだけでなく、この巨体はどのようにして獲得されたのか、小さな卵からたくさん孵った雛は、どのような試練を生き延びなければならなかったのか、タッチパネルなどを駆使したインタラクティブ(体験型)展示で楽しみながら学んでいただけます。この章の末尾には大英自然史博物館からの深淵なメッセージも込められています。



パタゴティタンとは

アルゼンチンのパタゴニアで見つかった前期白亜紀の竜脚類ティタノサウルス類で、現在のところパタゴティタン・マヨルム(*Patagotitan mayorum*)一種のみが知られています。彼らはティタノサウルス類の中でも最大級の種で、生存時は全長約37m、体重約57tあったとされています。

© Trustees of the Natural History Museum, London

※写真はロンドンでの展示の様子です。



大英自然史博物館

(Natural History Museum, London) とは

イギリス・ロンドンにある自然史博物館。ロンドン自然史博物館ともよばれる。世界的な科学研究の中心であるとともに、年間500万人以上が訪れる、一大観光スポットでもある。

© Trustees of the Natural History Museum, London



第4章 さまざまな竜脚類

パタゴティタンの大きさを堪能した後は、ティタノサウルス類以外の竜脚類にも目を向けてみましょう。北米ではパタゴティタンより古い後期ジュラ紀(約1億5000万年前)にディプロドクスやカマラサウルスが繁栄し、南米ではアマルガサウルス、そして日本の福井県ではフクイティタンという竜脚類も見つかっています。アジアでは中国やタイからフクイティタンと近縁な竜脚類が見つかったので、その進化を考えるうえで福井県の恐竜化石は重要な意味を持ちます。しかし、彼らが向かうところ敵なしだったかということ…それは次の最終章で。



ディプロドクス



フクイティタン ©ココロ



第5章 巨大恐竜の終焉

草食恐竜は肉食恐竜に食べられるだけでなく、草食恐竜同士でもエサとなる植物をめぐって生存競争にさらされます。他の草食恐竜をはるかにしのぐ巨体を誇る竜脚類ですが、必ずしも地球上の大陸全土で栄え続けていたわけではないようです。植物を咀嚼することに特化した鳥脚類や、分厚い鎧のような骨で身を守ったヨロイ竜類など、様々な草食恐竜たちの生存戦略を見ていきましょう。



デンバーサウルス
福井県立恐竜博物館蔵

【開催概要】

展覧会名	巨大恐竜展 2024
会期	2024年7月13日(土)～9月13日(金)※会期中無休
開場時間	9:00～17:00 ※8月10日(土)～18日(日)は19:00まで ※入場は閉場の30分前まで
会場	パシフィコ横浜 展示ホールA(横浜市西区)
主催	読売新聞社
共同企画	大英自然史博物館、福井県立恐竜博物館、福井県立大学恐竜学研究所
協賛	DNP大日本印刷
公式サイト	https://giantdinos-ex.com
公式SNS	X:giantdinos_ex Instagram:giantdinos_ex
アクセス	神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1 みなとみらい線 みなとみらい駅から徒歩 5分 JR・市営地下鉄 桜木町駅から徒歩 12分
お問い合わせ	050-5541-8600 (ハローダイヤル、受付時間9:00～20:00、年中無休)

※大英自然史博物館は“Titanosaur: Life as the Biggest Dinosaur”のパートを、福井県立恐竜博物館、福井県立大学恐竜学研究所はそのほかの日本側オリジナルコンテンツのパートを企画・監修しています。

※2025年夏に大阪に巡回予定です。

※展示内容や会期等に変更になる場合がございます。最新の情報は展覧会公式サイトをご確認ください。

報道関係の方からの本件に関するお問い合わせ先

「巨大恐竜展 2024」広報事務局(ユース・プランニングセンター内)担当: 大山、鹿又、池袋

〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町 9-8 KN 渋谷 3ビル 4F

電話番号: 03-6821-8387 E-mail: kyoryu2024@yppcpr.com